

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

ブログ出版局

今日から 7 月 - 2015.07.01 Wed

早すぎて信じられませんが、今日からついに 7 月です！

6 月締切りの賞に参加された皆様はお疲れ様でした。
いつもギリギリ投稿のコメント常連さんも、今回は普通に投稿できたようで何よりです。

さてさて。
まずは毎月恒例の、アレの紹介から。

月 1 回ペースの発行ですが、細々と続けているうちに、とうとう 4 2 冊目です。

【らくだ図書館（4 2）】

<http://p.booklog.jp/book/99252>

今回は半年区切りなので、紙書籍も準備しています。
需要ないとは思いますが、いつも通り、完成したら一応紹介します。

それから小説投稿とはまったく関係ない私事ですが、ファイナンシャルプランナー（AFP）の試験に合格しました。

自分は経済感覚が破綻している自覚がありますが、資格の為に真面目に勉強したことで、お金の問題にちょっとだけ詳しくなれたと思います。

具体的には、NISA で投資信託を始めて、今のところ順調に損してます……！

そんなこんなで、大型イベントが目白押しの 7 月ですが、やはりハイライトは来週の電撃 1 次発表祭り。

どの賞も発表は楽しみですが、電撃は規模が違うので、盛り上がり方が強烈ですよ。ね。
というわけで、祭りに参加される皆様は、どうぞよろしく願います。

こんにちは、らくだです。

なろうコンの最終結果が発表されました。

1次や2次の時も詳しい講評が掲載されましたが、今回は最終発表ということで、さらにボリュームのある講評が上がっています。

【発表&総評ページ】

<http://www.wtrpg9.com/novel/>

決して回し者ではありませんが、これは参考になると思います。

というか、これだけ長くて丁寧な講評は、正直初めて見たかもしれません。

具体的にはリンク先参照ですが、上達のコツを誰でも還元できるように教えてくれて、しかも落選者にもさり気ない気遣いを見せるとか、こんな運営姿勢惚れてまうわ……！

ただ一つだけ、

「最初の構成不足が最終的に回収できるかどうかは実力もさることながら運の要素も大きいように思えます」

これはちょっと同意できないなあ……と。

そもそも作品の構成は、最初から最後まで考えた上で書くものであって、そこに「運」の要素は絡んでこないと個人的には思うんですよね。

ただしそれは、自分の書く物が完結必須の投稿作だからであって、長期連載が前提のネット小説では正しい意見なのかなと思います。

とにかく、今回発表を追いかけて、なろうコンには惚れました。

次回は未定ということですが、きっと開催されると思うので、情報を待ちたいと思います。

7月1日に「あけおめ」メッセージが届いたんですが、コメントした人はフィギュアスケートマニアだな！
(喜)

ありがとうございます。

スケート系のコメントが来ると個人的に嬉しいです。

ジャパン・オープンの情報も出たし、シーズン開幕が今から楽しみです。

ここは基本的に小説投稿ブログなので、スケートの話はたまにしか書けませんが、今後も定期的にねじ込んでいこうと思います。

それからもう一つコメントが届いて、来週の電撃1次発表について、「祭り会場はどこ？」と聞かれました。

あ、えっと、自分では用意しません。

本スレを見ながらフォロワーさんの公開チャットに参加する予定です。

いや、もし必要なら場所を作ってもいいんですが。

ただ自分は人見知りが多いので、知っている人がいないと、一切発言できない奴なので。

それなら、ぼっち回避のためにも、親しいフォロワーさんが主催する会場にお邪魔しようかなーと……（他力本願）

まあいずれにせよ、知らない人が多かったら口数は少なくなるので、もし見かけたら優しく声をかけてください。

というわけで、待ちに待った祭りまで、あと5日～7日くらいです。

実はこのブログも、毎年この瞬間に年一番のアクセス数を稼ぐので、今年もPV記録を更新できるように待ち構えたいと思います。

書籍版の案内 - 2015.07.04 Sat

こんにちは、らくだです。

今回は宣伝記事なので、興味のない方は、スルーをお願いします。

定期的に紹介しておりますが、当ブログ「らくだ図書館」を、半年毎に製本しております。

このたび 2015 年の上半期分をまとめた、7 冊目となる最新版が完成したので、購入先のリンクを紹介しておきます。



【らくだ図書館】

掲載記事 : 2015 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日

ページ数 : 257 ページ

[ご購入はこちら](#)

自分は同人活動の経験はありませんが、製本に手を出すようになってから、薄い本が薄い理由が根本的にわかりました。

印刷代、高いんだもん！

こんなもん、趣味で売ったら真っ赤っ赤だよ！

まあ自分がお願いしているブログ出版局様は、良心的な価格で驚きの高品質なので、これからも毎回利用しようと考えていますが……。

とにかくそういうわけで、今回は書籍版の案内でした。

値段が値段なので無理に勧めはしませんが、よろしければお手に取ってみてください。

新シーズンの開幕に先駆けて、フィギュアスケートファンクラブの「アイスクリスタル」が、新規会員を募集するようです！

募集がかかる度に記事にしているので、すでに何度目の紹介だって感じですが、公式のリンクを載せておきます。

ま、どうして毎回書いてるかっていうと、毎回落選してるからなんですけどね（トホホ）

【詳細ページ】

http://www.icecrystalnet.com/genaral_news/entry/20150706102306.html

【募集人数】 300 名

【受付期間】 7月28日（火）12：00～29日（水）17：00

【申込方法】 公式サイト特設ページよりエントリー

*期間中は24時間エントリー可

*応募多数の場合は抽選にて決定

*今回当選してもNHK杯の先行には間に合わない模様

もうね……。

アイクリ難民4年目だよ……。

そろそろ自分だって当選したいよ……。

いつも試合会場へ足を運ぶ度に、会員証を片手にアイクリブースに並んでいる会員さん達が、うらやましくて仕方ないです。

っていうか、落選するのは小説投稿だけで充分だぜ！（本音）

そういうわけで、抽選なので頑張りようがないですが、今度こそ当選するといいなぁーと思います。

好きだから、ラブ・フラゲ！

というわけで祭りの足音がいよいよ近付いて参りました。

この緊張感を祇園祭にたとえるならば、今は宵宵山といったところでしょうか。

まあさすがに、このタイミングで奇襲は来ないと思うので、今回は毎年この時期に思っていることを書いてみます。

それはズバリ、

「通過報告・落選報告って、いつすればいいんだ？」

え、迷う必要あんの？

ほぼ確定情報なんだから、通過にせよ落選にせよ、フラゲ日基準でいいじゃん？

と思われる方もいるかもしれませんが、それだとちょっくら問題があるのです。

様々な投稿者さんと交流する中で気付いたのですが、中には掲示板を見ずに（というか存在自体を知らずに）、純粹に公式発表を待っている方もいらっしゃいます。

そんな中で「イエーイ、通過しましたー！」なんて書いたら、「え、どこで発表あったの？」と、いたずらに不安を煽ることになりかねません。

同じ小説投稿者とはいっても、みんながみんな、フラゲ厨ではないわけです。

あと、某所を見るには見るけど、公式発表しか信じないという方もいらっしゃいます。

正直投稿ブログを始めたばかりの頃は、そんなこと、考えもしなかったんですけどね。

色々な意見をいただく中で、全方位に気を遣う姿勢が、少しだけ身につきました。

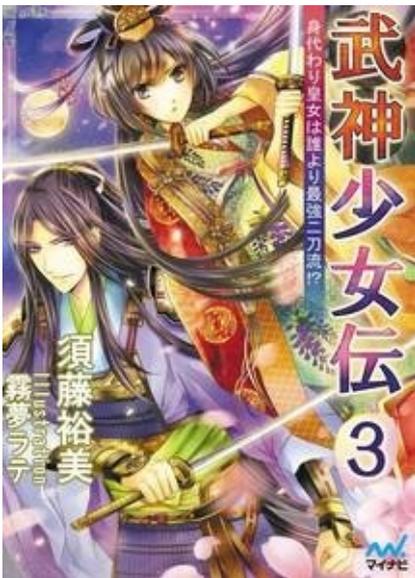
という教訓めいた話を書きつつ、フラゲはやっぱり個人的に楽しみなので、今年も全力で祭りを楽しもうと思います！

こんにちは、らくだです。

以前紹介した須藤裕美様の作品ですが、最終巻となる3巻が刊行されました。
今回も1・2巻の発売時同様、素敵な表紙と共に紹介します。

『武神少女伝（3）身代わり皇女は誰より最強二刀流!?』

⇒ [Amazon 紹介ページ](#)



凛々しい表紙イラストの通り、ヒロインが格好よく戦います！

1～3巻すべて素敵ですが、引き締まったこの表情が、個人的には一番好きです。

というわけで、みなさま機会がありましたら、是非お手に取ってみてください。

それにしても、自分が関わった（と言えるほど何もしてませんが）作品が形になるのは、何度経験しても本当にワクワクするし嬉しいです。

この感動を、いつか作者として味わえるよう、自分もさらに精進しようと思います！

こんにちは、らくだです。

小説家になろうの企画で「夏のホラー 2015」が開催される模様です。
リンクを貼っておきますので、気になる方はご参照ください。

【公式サイト】

<http://horror2015.hinaproject.com/>

何気なく規定をチェックしていたら、「文字数:1文字以上 300文字以下」と目に入って、その瞬間「えっ!？」となりました。

1文字だけのホラー小説……?

それって何だろう、例えば「ぢ」とか……? (怖い意味ぢがう)

と思って冷静によく読んでみたら、その数字は、参加表明の規定文字数でした。

まあ、そりゃそうですね (汗)

それが本文の規定文字数だったら、さすがに少なすぎますもんね。

とにかく、ホラー小説を積極的に書かれる方は、企画概要をチェックしてみてもいいのではないでしょうか。

ちなみに実施期間は、

参加表明 7月9日～7月22日

作品投稿 7月9日～8月6日

閲覧期間 7月23日～8月27日

ということで、まさに夏休みの企画です。

自分自身はホラー小説は書けませんが、参加作品は見てみたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回は最近チラホラ寄せられる質問にお答えします。

まず先日宣伝させていただいた2シリーズの件ですが、監修につきましては、著者様から直接ご依頼をいただいております。

つまり私自身はマイナビブックス様とは関係なく、従って自分の作品を売り込むチャンスがあるわけでもなく、今のところ自作の出版の予定は一切ありません。

そりゃそうだよ！

オイラは永遠にワナビだからな！

(自らフラグを立てに行く勇敢なスタイル)

それから、らくだ図書館の書籍版について。

あれは自費出版ではなく、言ってみれば、趣味で作った同人誌です。

ブログ出版局様には増刷機能がついているので、記事で紹介したリンクから誰でも注文可能ですが、購入者様の情報はこちらからは見られません。

というか、増刷注文が入っても特に通知されませんし、売れたからといって自分に収入が入ってくるわけでもありません。

興味を持ってくださった方が過去にいたので、毎回リンクの紹介はしていますが、販売ではなく製本サービスとご理解ください。

とまあそういうわけで、日付は7月9日ですが……。

某掲示板の祭りも盛り上がりましたが、詳細や感想については、公式発表の後に書こうと思います！

電撃の1次発表？

自分の名前なんてあるわけが……えっ、ある！？

【公式サイト】

http://dengekitaisho.jp/announce_22_01.html

応募総数 4,580 作品
1次通過 592 作品
通過率 12.9 %

というわけで、通過しました！

お祝いコメントをくださった皆様、どうもありがとうございました。
いつも落ちる一方なので、通過報告にリプがくるのは、すごく新鮮な体験でした。

ちなみに某賞で2次落ちしたものと同一題名ですが、内容を変えて最初から最後まで全部書き直したので、作品的には改稿ではなく新作という位置付けです。
(そして、S〇の評価シートはまだ来ない……)

それから、投稿前後に作品を読んで感想をくださった方々に、改めてお礼を。
この部分が良くない、ここは直すべき等々の指摘を頂いて、勉強になりました。

締切り後に読んでくださった方の意見は、今選考中の原稿には反映できませんが、改稿の際に必ず活かそうと思います！

というわけで、次の発表は、来月の電撃2次。

今年こそいい結果が出ることを期待しつつ、しかし決して慢心はせず、自分自身&作品の向上を目指したいです。

こんにちは、らくだです。

紙媒体での通過リスト欲しさに、該当雑誌を購入してきました。

いや、その……。

毎年週刊アスキーを買っていたんですが、紙の出版がなくなってしまったので……。



文句あんのか！

オレはこの雑誌が読みたいんだ！

(突然の逆ギレ)

というわけで、電撃ガールズスタイル8月号です。

これを買うのは試練でしたが、己の信念に従って、無心でレジへ出しました。

そっと裏向けにしましたが、裏の方がむしろアレで、墓穴を掘った気分です。

まあ、いいさ……。

こういう月刊誌の類って、後から欲しくなっても、入手するの難しいし……。

ちなみに、肝心の通過リストは102ページに掲載で、フォントの小ささ&細かさたるや、視力検査かと思わせるレベルです。

でもやっぱり、いくら見にくくても、紙のリストはいいですね。

残したいなら公式サイトをスクショという手もありますが、印刷物に自分の名前が載っているのを見ると、一味違う「通ったんだなあ」という実感が湧いてきます。

こうした情報誌に限らず小説もそうですが、ページを手でめくる楽しさって絶対にあると思うので、これからも紙媒体の書籍は極力なくならないで欲しいなあって思います。

こんにちは、らくだです。

祭り期間中は多数のアクセスありがとうございました。

そろそろ普段の閲覧数に落ち着くと思いますが、「毎日読みたくなるブログ」を目指して、繁忙期以外の平常期間も地道に頑張ります。

さて、今回も発表の話題を。

角川文庫キャラクター小説大賞の1次結果が発表されました。

自分は参加できませんでしたが、例によって、アドレスを貼っておきます。

【発表ページ】

<http://www.kadokawa.co.jp/contest/character-novels/archives/01/1st/>

応募総数 225 作品

1次通過 18 作品

通過率 8%ちょうど

同日発表となった電撃大賞に比べると、応募数という観点で規模は小さいですが、今はまだ開催第1回目ですからね。

受賞作品が刊行されたら、賞のカラーもわかりますし、応募数は増えると思います。

そういう意味でも、これから選ばれるであろう受賞作には、期待したいです。

というか、大賞作品が角川文庫から出版されるこの賞って、今更だけどすごく魅力的じゃないですか……？（ワナビの本音）

もちろん簡単にデビューできるわけではないですが、今後の展開が非常に気になるので、どうなっていくのか情報を見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです！

最近結果発表が多すぎて、更新が追いつかないよ！

というわけで、電撃大賞やキャラクター小説大賞に引き続き、ビーンズの3次結果も7月10日に発表されました。

【発表ページ】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

応募総数 502作品

3次通過 3作品

通過率 約0.6%

おお！

タイトル見て勝手に応援してた、コンビニ新撰組が通過してる！

この作品が受賞して出版されたら読みたい……というか、今の段階ですでに3作品なんだから、万一受賞を逃しても刊行されるんじゃないかなと期待。

(特に根拠はありません、自分の勝手な推測です)

最終結果の発表は10月らしいので、少し期間があいてしましますが、楽しみに待ちたいと思います。

それから今月は、自分が日課チェックしている賞の中では、えんため&えんためガールズの2次発表がある予定です。

自分自身は1次で落選しましたが、知っている方が何名か通過中なので、そちらの発表も楽しみに待とうと思います！

こんにちは、らくだです。

えんため大賞のボーカロイド楽曲部門について、受賞作品『革命ナンバリングアタッカーズ』が、発表サイトに埋め込まれた You Tube で視聴できます。

さらには、この楽曲のイメージストーリーが公開されました。
今更の話題ですが、このブログでは紹介していなかったので、リンクをペタリ。

【ボーカロイド部門・発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/17vocal.html>

【イメージストーリー・直リンク】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/images/17/kakumei.pdf>

イメージ小説は 12 枚なので、すぐに読めると思います。
ちなみに書いていらっしゃるのは、第 16 回えんため大賞の受賞者様です。

自分が作品を読んだ感想は、
「まさしくタイトル通りの内容だ……（驚愕）」

ぶっちゃけ設定も展開もご都合主義に見えて、途中までは「この作品ニガテだなあー」と思っていたのですが、最後の 2 枚で一気に好感度が上がりました。

すげえ……！
ラストで何もかも回収した……！

強引といえば確かに強引なので、読む人によって好みは分かれるかもしれませんが、少なくとも自分は好きな内容でした。

というわけで、どんな小説か気になった方は、リンク先をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

電撃の2次発表は8月10日（月）というのが一般的な通説ですが、来月の文庫発売日は8日（土）だから、そのタイミングで結果情報が出回る可能性が微レ存と聞きました。

だが、しかし！

どの雑誌が最速であろうと、自分は次もこれを買うぜ！



いや、だって……。

今は紙の週刊アスキーがないし、缶詰にも載らなくなったし……。

確実に毎月10日発売で、なおかつ発表が載る媒体って、この雑誌だけだから……。

というわけで、同じ写真を2回使いましたが、そろそろ怒られそうなのでやめておきます。

しかし乙女ゲーム雑誌を買うのはともかく、自分は二次元に生きる人間なので、アニメやゲームやコミックは大好きです。

なんかね。

最近すごく思うんですよね。

もし仮に小説家になれたら、自分自身の治らない二次コンについて、「これは業界研究であって仕事なんです！」と言い張れるのになぁーと。

もちろんただそれだけを目的に、作家を目指しているわけじゃないですし、なりたい理由は他にもたくさんありますけどね。

とにかく、今はひたすら消費者の立場ですが、いつかは提供する立場になりたいなーと願いつつ、とりあえず目の前にある原稿を頑張ろうと思います。

忍耐力のテスト - 2015.07.16 Thu

こんにちは、らくだです。

ここ最近あまりにも暑すぎて、ただでさえユルい頭が、ますます働かない状態です。

さてさて。

集英社ラノベの1次発表があったので、いつも通りアドレスを貼っておきます。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx3rdAward/result.html>

応募総数 553 作品

1次通過 139 作品

通過率 約 25 %

あ、あれ……？

新しい発表が出ちゃったけど、前回の評価シート、まだ届いてないような……？

と思って某所をチェックしたら、前回や前々回の選評が届いていないのは、どうやら自分だけじゃないようです（汗）

ここは、アレです。

忍耐力のテストだと思って、気長に待つことにします。

ああ、そうだ！

強く信じ続けていれば、いつかきっと届くんだ！

話がそれましたが、気になる2次発表は、来月上旬みたいです。

自分は今回不参加でしたが、どの作品が通過するのか、楽しみに待とうと思います。

こんにちは、らくだです。

しばらく消していた活動履歴を、このたび再アップしてみました。
特にどうってこともない内容ですが、興味のある方がいればご覧ください。

*** 活動履歴 ***

こうして見るとつくづく実感するんですが、自分の活動（成績とか通った数とか）は投稿ブログを始めた【2012年】がピークで、それ以降は静かに下降を続けております。

だが、この流れは上等だ！
フラグはへし折るためにあるのだからな！

ちなみにどうして履歴を消していたかって言うと、一時期（一年前くらいかな？）投稿が大嫌いになって、過去の活動を全部なかったことにしたいと思ったからです。

だって6年間も活動してきたのに、「おままごとレベル」ですもん……。
いくら文章を書くことが大好きでも、そりゃ、投稿したくないと思いますって……。

まあ小説投稿に対して興味を失っても、ブログを書くのは趣味であり日課なので、何気なく毎日続けてきたんですが。

でも今にして思い出せば、去年のおかげで今があるので、あの暗黒期間も結果的にはいい経験になりました。

というわけで、まだまだ芽の出ない生活が続いていますが、少なくとも自分の活動にプライドを取り戻せたので、こうしてまた過去の活動履歴をアップしてみたというわけです。

投稿生活はハプニングの連続なので、また大嫌いになってしまう瞬間があるかもしれませんが、それも含めて一つ一つの出来事と真剣に向き合っていきたいなと思います。

思いつきで再アップしてみた活動履歴のページが、記事本体以上に閲覧数が多いんですが、これはそうですか記事が面白くないってことですか。

勝手に被害妄想し、勝手にニヤリと微笑む、自己完結型ドM。
(ある意味では便利な体質)

まあでも、アレですよ。

ブログに詳しい活動履歴が書いてあったりすると、その投稿者さんに親しみが湧くので（少なくとも自分はそう）、経歴のページはこのまま上げておこうと思います。

それからもう一つ、「らくださんでも投稿がイヤになる瞬間ってあるんですね」みたいに言われましたが、そりゃもちろんです。

だって投稿ツライですもん。

好きなのも本当だけど、苦しいのも本当で、どっちとも真実です。

例えば6時間くらいぶっ続けで原稿していると、心身の感覚がマヒして何も考えられなくなり、「い、息抜きにブログ書こう……」みたいな。

メインの作業が物書きで、息抜きも物書きという、よく考えたら謎の状態。

なのにそういう生活が楽しいので、なんかもう、一生逃げられないんだと思います。

というわけで。

自分が創作活動をやめるとしたら、それは文章を書くのがキライになった瞬間ですが、物心ついた時からずっと趣味なのでそうなる可能性は低そうです。

小説投稿は時としてツライですが、こんな体質なので、今後も続けてしまうのでしょう。

こんにちは、らくだです。

ラノ文の1次発表について、今更ながら、アドレスを貼っておきます。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

http://www.fantasiataisho.com/contest/3rd_bungei.php

応募総数 483 作品

1次通過 42 作品

通過率 約 8.7 %

10日遅れの話題で、本当にすみません（汗）

何しろ先週は色々な賞で発表がありすぎたので、何を話題にして何を話題にしていないのか、もはや自分自身でもわからないという状況……。

まあそういうわけで、今後も「今更かよ！」って記事を書くかもしれませんが、なるべく色々な新人賞について幅広く紹介できるよう、情報収集を頑張ります。

それはそうと、発表ページを見て初めて知ったんですが、この賞は1次選考から「編集部直読み」なんですね。

別に「下読み制度は信頼できない」とは思っていないんですが、自分の原稿を必ず編集者さんが読んでくれるというのは、投稿者からしてみればやっぱり大きな魅力です。

自分の書く小説はだいたい70,000字くらいなので、規定枚数の都合で富士見さんには送ったことがないのですが、最近は10万字を越える作品も書くようになったので、機会があればチャレンジしてみたいなあと思います。

ピクサー映画の『インサイド・ヘッド』を観てきました。

感想を先に言うと、いかにもディズニーピクサーらしい、心温まる物語でした。

主な登場人物は、「ヨロコビ」「カナシミ」等、感情が擬人化されたキャラクター。それらの感情キャラが、少女の脳内で議論して、外に出す感情を決めているという。

自分は前情報なしに見たんですが、まずこの設定が面白いですね。

ストーリーについては、「ヨロコビ」と「カナシミ」が脳の司令部から締め出され、そのせいで主人公の少女は2つの感情をなくしてしまい、幸せだった記憶が次々と色あせて崩壊していく……という流れ。

で、「ヨロコビ」は脳の司令部へ戻ろうと奮闘するわけですが、その道中の風景がいかにもメルヘンチックで夢が詰まっているのです。

もちろん単にかわいいだけでなく、要所要所に泣きどころや教訓もあり、「感情って大事なんだな」と改めて再確認できる展開でした。

で、ここからは個人的な意見ですが、この作品はある意味「設定の勝利」かなと。

2次創作と呼ぶと違うかもしれませんが、「この世界観ならこんなストーリーが作れそうだな」等々、色々と想像しやすい設定だと思います。

たとえば年齢や性別が違えば脳内の風景も違うだろうし、同じ「ヨロコビ」でも人によって微妙に個性は違うだろうし、どの感情を失うかによっても話の流れは変わってくるし……。

こういう想像がはかどる設定を提供することは、投稿において非常に重要だと思うので、自分もセンスを磨いていきたいと考えました。

何だかうまい具合にまとまりませんが、とにかく心温まるいい話だったので、機会があれば皆様も是非観てください！

こんにちは、らくだです。

今回の話題はイラストに関してです。

『アクセル・ワールド』の作者さんは、キャラクターの衣装デザインの一部を自分で手掛けたと、受賞者インタビューで読みました。

それって凄いですよね。

あれほどの売れっ子作家さんで、しかも絵心もあるとか、才能ありすぎだと思います。

その話に感銘(?)を受け、自分も将来デビューした時に備えるべく、だいぶ前に買ったペンタブを引っ張り出して、自作品のキャラデザを描いてみたのですが。

うん……。

才能がないのは、わかってたよ……。

というわけで、あまりにも悲惨な出来だったので、美しいイラストを描かれる絵師様に、改めて尊敬の念が湧き起こった次第です(汗)

絵を描く人ってマジで凄いですよね。

ぶっちゃけ小説を書くのも大変だけど、イラストは絶対それ以上だと思います。

そんなわけで、自分に絵の才能がないのは百も承知ですが、せめて人様に見せられるキャラデザが描けるよう、これからちょっとずつ修行していこうと決意しました。

思い出せば小説執筆だって、今でこそ普通に書ける状態ですが、最初の作品を完成させるのには、約1年かかったわけですし。

ラクしてすぐに上達できる方法なんてないだろうし、焦らず慌てず、それくらい長い目で取り組みたいと思います。

こんにちは、らくだです。

拍手コメントをくださった M.H 様、どうもありがとうございます。
最近あまりにも暑すぎて、屋内でも熱中症になりそうですが、梅干し食べて頑張ります。

さて、ところで……。

ここに書いても仕方ないのですが、近ごろ持病の胃痛が唐突に再発していて、太田胃散が片時も手放せません。

完治したと思っていたのに、何が原因なのでしょう？
ひょっとしてひょっとすると、発表のストレスでしょうか？

ちくしょう！
自分では穏やかに待っているつもりなのに、心と違ってカラダは正直ってということか！

いや、それとも、生活習慣の乱れが根本的な原因かも？

そういうわけで、規則正しい生活リズムを定着させて、そのまま来月の発表まで待ってみて、それでも治らなかつたら病院に行こうと思います。

正直、胃カメラは苦痛ですけどね……。
まあでも、検査後のことを考えると、ある意味バリウムよりマシかなって言う……。

以上、オチも見せ場ありませんが、近ごろ胃が痛いよーという話題でした。

それにしても、当然ですが健康は大事ですよ。
楽しい投稿生活を送れるのも、健康あっての話なので、早めに完治させたいです。

ひきこもり体験 - 2015.07.23 Thu

こんにちは、らくだです。

艦これ等のオンラインゲームや、AKB グループの動画を配信している DMM.com が、ひきこもり体験の参加者を大募集している模様です。

【特設ページ】

<http://www.dmm.com/pr/half/hikikomori>

ひきこもり期間 2015年7月30日（木）～8月5日（水）

ひきこもり場所 東京都内

募集対象者 上記期間ひきこまれる健康な18歳～60歳の人間

企画概要をまとめると、

- ・一週間外出禁止
- ・対象者には専用のひきこもり部屋を提供
- ・その部屋にある物は机、イス、ベッド、DMM.comのみ閲覧できるパソコン
- ・食事（一日三食！）つきで、たまに食事と一緒に、お母さん風の手紙が届く？

なんや、これ……。

一週間誰とも話さずに、ひたすらゲームしていいなんて、オイラには天国やで……。

っていうか、わざわざこの企画に参加するまでもなく、一週間自分の部屋にひきこもった経験とか、よく考えたら普通に何度もあるんですけど？（ガチ勢）

まあでもとにかく、こういう一見突拍子もない企画を、企業が真面目に開催するって、遊び心が感じられて楽しいですね。

というわけで。

その期間に東京へ行けて、ひきこもりを希望する方は、挑戦してはいかがでしょう。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の2次発表がありました。

少年向け部門と少女向け部門、各々リンクを貼っておきます。

ちなみに豆知識ですが、この賞ってファミ通のサイトが先に更新されて、そのあと数時間するとえんため大賞のサイトにも結果が載るんですよね……。 (1次も2次もそうだった)

【ファミ通文庫部門・2次発表】

応募総数 652作品
2次通過 20作品
通過率 約3%

【ビーズログ文庫部門・2次発表】

応募総数 439作品
2次通過 25作品
通過率 約5.7%

通過された皆様はおめでとうございます。

さすがに2次選考ともなると、通過率は1桁で、どちらの部門も激戦ですね。

まあ自分は1次で落ちたから、2次がどれだけ狭き門でも、さっぱり関係ないんだがな！
(精一杯の強がり)

ちなみに3次発表は8月上旬らしいので、たぶんあと1週間か2週間くらいです。

それも楽しみですし、ゲーム部門の要項もそろそろ更新されるだろうし、引き続き毎日チェックしていきたいと思います。

アイスショーに行ってきました- 2015.07.25 Sat

こんにちは、らくだです。

アイスショーの『THE ICE (ザ・アイス)』、大阪初日の夜公演へ行ってきました。

本来なら会場の写真を載せたいんですが、友人と話していて撮り忘れてしまったので、代わりに公式サイトアドレスを貼っておきます。

そうです。

基本は2次元に生きる自分ですが、ほんの少しだけ、リアルな友人・知人もいます。

【THE ICE (ザ・アイス) 2015】

http://www.ctv.co.jp/event/the_ice/

さっそく感想なんですが、すごく盛り沢山な内容で、本当にあっという間でした。

オープニングで披露された真央ちゃんの『仮面舞踏会』とか、ミーシャジーによる渾身の『高橋大輔メドレー』とか、コアなスケートファンのツボを確実に突いてくる内容で、しかもA席2階後方でも見えやすいとか素敵すぎる……！

あとは、やっぱりアレですね。

懐かしのプログラムの再現があると同時に、ほとんどの現役選手が新プログラムを披露してくれた（時期が時期だけに）のも、個人的に嬉しかったし参加してよかったです。

というわけで、久しぶりに生のスケートを見て、たくさんエネルギーを充電できました。

いくら小説執筆が趣味とはいっても、毎日そればかりしていると心が疲れてしまうので、こうして他の趣味に目を向けるのも刺激になっていいですね。

これからも可能な限り会場へ足を運んで、現地観戦できればいいなと思います。

半年前に書いた自分の原稿を読み直してみたら、おかしい部分がボロボロ見つかって、テンションが下がるったらありゃしない！

改行の位置が不自然。

もっと的確な表現がある。

重要な説明をすっ飛ばしている。

逆にいらぬ説明がありすぎて邪魔。

等々、具体的に挙げ出したらキリがなく、何故こんな状態で送ったのかと絶望しました。

こういう失敗(?)って、毎回なんですよ。

投稿した時点では完璧だと思ってるけど、後から見直して「うわぁ……」っていう。

これはたぶん、夜中に書いたラブレターが気持ち悪いのと似た現象というか、自分の文章って書いたその瞬間には客観視できないものなんだと思います。

だって、ほら。

ある意味生まれた瞬間の文章って、「自分の気持ち」そのものですから。

だからこそ、言葉を自分から分離させて、しばらく時間を置くことで、ようやく客観的に見られるわけで。

つまり作品を客観視するためには、書いてからある程度の時間が必要であって、締切り当日に仕上げた原稿をそのまま送るのは良くないなぁーと思いました。

まあ、この結論だけ見ると、当たり前なんですけどね(汗)

とにかく自分の原稿を冷静に見直すためにも、賞に応募する原稿は、時間に余裕をもって仕上げたいものです。

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

しばらく前にも話題にしましたが、アイスクリスタルの新規会員登録エントリーは、明日29日の17時締切です。

ご興味をお持ちの方は、下記リンクからどうぞ。

[【アイスクリスタル・エントリーページ】](#)

自分は受付開始早々にエントリーしましたが、恐らくアクセスが集中したのか、なかなか応募ページに繋がりませんでした。

別に先着順じゃないのに、人気すぎるだろアイクリ！
道理で何度申し込んでも、いつも落選するわけだ！

ちなみに余談ですが、今まで記述式だった「好きな種目」と「好きな選手」の欄が、選択式の入力に変わってました。

そうか……。

好きな種目って「フィギュアスケート」でいいのか……。

今までずっと、「ショートプログラム」とか「グランプリシリーズ」とか、すっげえ見当違いなこと書いて応募してたわ（滝汗）

まさかそれが落選の原因ではないと思いますが、とにかく今回はちゃんと応募できたので、来月の結果通知を楽しみに待ちたいと思います。

どうか当選しますように……！

創作イメージを膨らませるためにピクシブを徘徊していると、それ自体が楽しくて、逆に執筆がどうでもよくなってしまふ系ワナビです。

いや、これはサボリじゃない！

作家デビュー時に備えた、情報収集の一環なんだ！

ほ、ほら、例えばHJ大賞なんて、イメージするイラストレーター名を、小説投稿時に記入する欄があることですし……（弁解）

それはそれとして思うんですが、絵の好みって本当に十人十色で多種多様だから、そこが面白いなーと感じます。

こう、なんて言ったらいいんでしょうか。

「上手い絵＝魅力的」とは限らないというか、客観的にはそこまで上手くないんだけど、やけに色気を感じるイラストってあるじゃないですか。

（色気といってもヤラシイ意味じゃないですよ？）

その「惹かれる理由」は何なんだろうと考えたんですが、それはたぶん作者の人間性であったり、キャラクターに対する愛情だったり、そういうものが絵に滲み出た結果だと思うわけです。

で、いつもの流れなんですけど、これって小説にも言えるんじゃないかなーと。

技術的にどれだけ上手い文章を書いたとしても、そこに魂が宿っていなければ、読み手の心には響かないと思うわけです。

というわけで。

慣れれば慣れるほど書き流してしまいがちですが、ちゃんと自分ならではの魅力を文章に込められるように、日頃の創作姿勢を見直したいと思った次第です。

夏祭りに行ってきました - 2015.07.30 Thu

こんにちは、らくだです。

近所の神社で開催された夏祭りに行ってきました。

実際は先週だったんですが、写真をまとめるのに時間がかかってしまい（汗）、ようやく今アップします。



神社へ向かう途中の風景。

いつもは何の感慨もなく通り過ぎる道ですが、こうしてライトアップされると、雰囲気満点でテンションが上がりますね。

と思っていたら、さっそくお神輿が……！



写真で見ると何気ないですが、高さ3メートルくらいです。

しかもコレ、急発進や急停止を繰り返しつつ、かなりのスピードで進んでいきます。

う、上のお兄さんは怖くないのかな……？



いざ参道に到着してみたら、人が多すぎて深刻にヤバイ。

でも頑張って通りますよ！

脇道から向かえば混んでないけど、それじゃ風情がないですからね！



途中でジャンボフランクを買いました。

本当はちんちん焼きを食べる予定でしたが、今年は残念ながら出ていませんでした。

[【去年のちんちん焼きの記事はコチラ】](#)



それにしても、こういう屋台系の食べ物って、何故かおいしく感じるんですよね。

実際はスーパーにある物と変わらないはずなのに、祭りの楽しい雰囲気がそうさせるんでしょうか？

その後、買い食いしつつ歩いていたら、アクロバチックな演出を目撃しました。



お神輿の上で逆立ち！

自分だったら絶対落ちる……と思ったけれど、そもそも逆立ち自体ができないので、まったくそれ以前の問題でした（ショボーン）

とにかくそんなこんなで、楽しい夏祭りの一時でした。

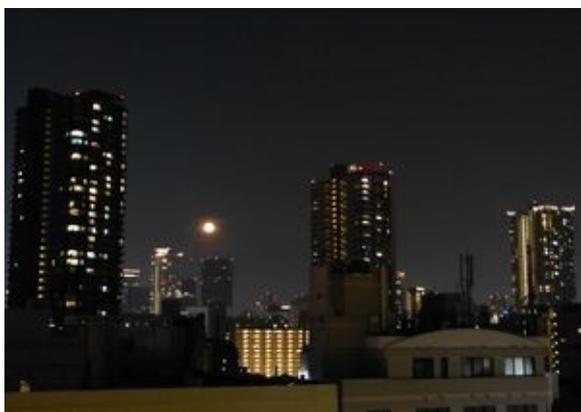
まだまだ夏は序盤なので、他にも行ける祭りがあれば、どんどん行ってみたいです。

ブログの更新をサボっている時にウェブ拍手が来ると、読者様からの無言のプレッシャーを感じますが、ケツをぶっ叩かれているようで実はちょっと嬉しいです。

さてさて。

冒頭の話と温度差がありすぎですが、見ると幸せになれるというブルームーンを、家のベランダから見ることができました。

特別天体ファンというわけでもないですが、こうしてキレイな月を眺めると、純粹に得した気分になってしまいます。



青い……？

うん、心なしか青い……ような……？（無理やり）

そうだ！

もっと拡大したら、きっと青いはず！



結論。

別に青くなかったし、色味も模様も、タコ焼きそっくり。

まあでも、上にも書いた通り、キレイな月を見ると幸せな気分になりますよね。

毎日バタバタしていると、なかなか空を見上げるような機会もないですが、自然の美しさを感じ取る心の余裕は常に持っていたいと思いました。

というわけで、7月も今日で終わり。

毎日暑くてバテ気味ですが、夏は楽しい行事も多いですし、8月も頑張ろうと思います。